

琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業について（赤野井湾での取り組み）

琵琶湖漁業の漁獲量を令和6年に900トンとする目標を掲げ、平成28年から漁業者と連携して琵琶湖等での水産資源と漁場環境の再生に取り組んでいる。

令和 7 年 1 月 30 日

1. 漁場環境の再生：国の水産多面的機能発揮対策事業を活用

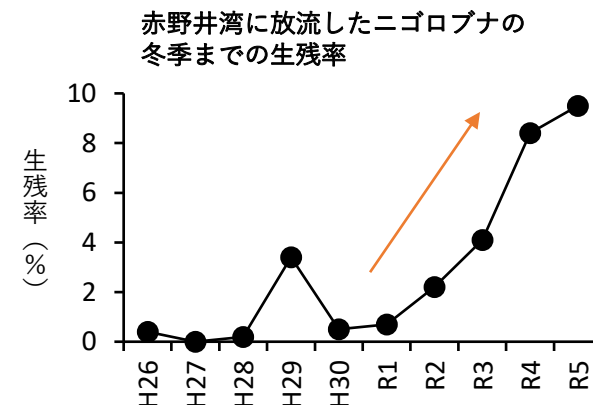
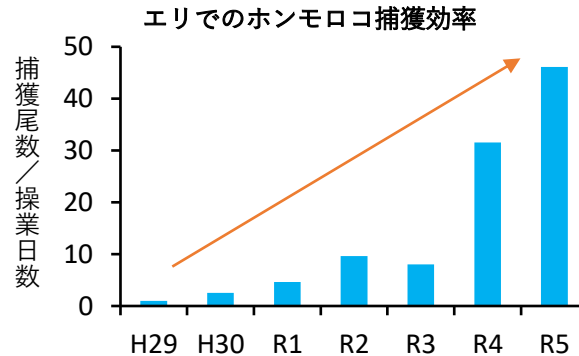
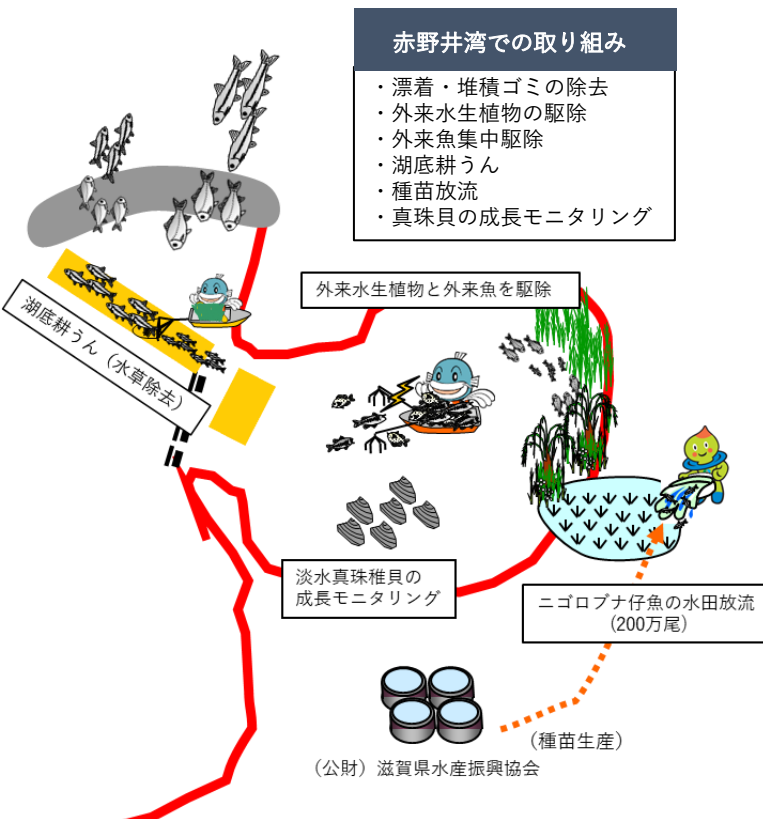
- ・漁業者を中心とした活動組織による様々な活動を支援
- ・赤野井湾では以下の3点を中心に実施
 - ①湾口部での湖底耕うん（水草根こそぎ除去）
 - ②ヨシ帯等での外来水生植物駆除やゴミの除去
 - ③外来魚集中駆除

2. 水産資源の回復：種苗放流と効果調査

- ・湾周辺の水田にふ化仔魚を放流
 - ①ニゴロブナ・ホンモロコを放流（平成28-令和2年）
 - ②ニゴロブナを放流（令和3年～）
- ・ホンモロコは近年急激に資源が回復
- ・ニゴロブナも放流魚の生き残りが急激に改善

3. イケチョウガイ稚貝のモニタリング調査

- ・蓋付コンテナを用いて生産したイケチョウガイ稚貝を真珠棚に垂下（令和6年12月～）
 - ・成長・生残率のモニタリング調査を開始
- ※モニタリング結果は令和7年度以降に順次公表予定



蓋付きコンテナを用いて生産した稚貝



稚貝の成長・生残率のモニタリング

